

# 平成30年度 全国学力・学習状況等調査

## ～町立小・中学校の結果の概要～

この調査の目的は、全国小学6年生、中学3年生の児童生徒の学力・学習状況等を把握し、課題の検証を通して改善にいかすためのものです。

### 1. 調査結果の取り扱いについて

- (1) この調査は、序列化や競争を目的とするものではありません。
- (2) この調査で測定できる学力は、特定の一部であり、学校の教育活動の一側面です。

平成30年度全国学力・学習状況調査小学校正答率 (%)

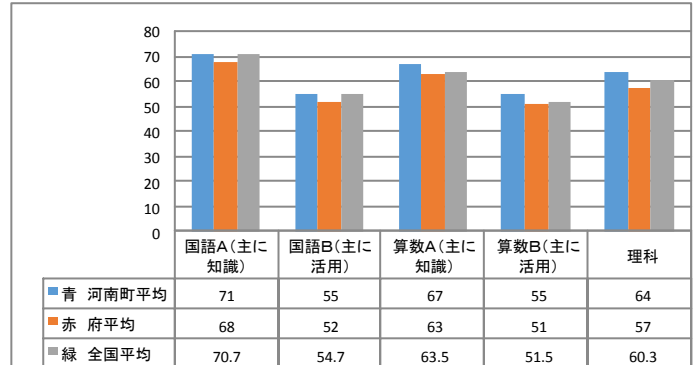
### 2. 小・中学校の調査結果の概要

#### 【学力に関して】

##### (1) 小学校

国語A（主として知識）と国語B（主として活用）がほぼ全国平均と同じとなり、算数、理科では、全国平均を上回りました。

国語では、言語の知識・理解・技能を問う問題で正答率が低くなっています。逆に、書く能力は全国を上回りました。算数では、グラフの読み取りで正答率が低くなっています。理科では、どの観点でも全国を上回ることができました。



##### (2) 中学校

町内では1校ですので平均正答率の数値は公表しません。

結果概要については、国語A・B、数学A・B、理科すべてにおいて府・全国平均を上回りました。

特に、国語B・数学Bの理由を説明する記述式問題の正答率が高く、無回答率が低くなっています。

課題としては、国語Aにおいて言語についての知識・理解・技能の一部の問題の正答率が低くなっていました。

**※小・中学校ともに、国語では漢字などの言語についての知識・理解・技能を問う問題に課題が見られましたが、記述式の問題形式の正答率は、ほぼ全国平均を上回ることができました。基礎基本を大切にしつつ、活用する力を付けていく授業に取り組んでいく必要があります。**

#### 【学習状況に関して】

児童・生徒アンケートの結果は府・全国全体概要とほぼ同様の傾向でした。以下に挙げるのは、町として大切にしていきたい点です。

- ・「授業内容がよくわかる」との回答が小学校（算理）で9割以上、中学校（数理）で約7割、「勉強が好きだ」との回答が小学校で（算理）8割以上、中学校で（数理）約6割ありました。「勉強が好きだ」「もっとわかりたい」という思いに十分応えていく授業の実現が学校に求められています。
- ・「学校のきまりを守る」との回答が小学校、中学校で9割をこえていて、府・全国平均と比べても上回っています。
- ・「宿題をする」との回答が小・中学校ともに9割以上あり、「自分で計画を立てて勉強している」との回答が小学校で7割、中学校で5割となっています。昨年度に比べ、改善されていますが、さらに自学自習の力を育成していくことが課題です。
- ・「平日全く読書をしなない」との回答が小学校で約2割、中学校で約3割ありました。読書習慣を定着していくための取組がさらに必要です。

### 3. 課題解決のために

- ・子どもたちの興味関心が高まる魅力ある授業に取り組みます。
- ・読解力をはじめ、ことばの力を高められる授業に取り組みます。
- ・授業規律をはじめ、学校生活における規範意識をさらに高めるよう努めます。

※日々の教育活動実施にあたり、今後とも保護者、地域の方々のご理解・ご協力をいただきながら取り組んでいきます。